

# 岡山県漁業士会による森と海をつなぐ植樹のつどい

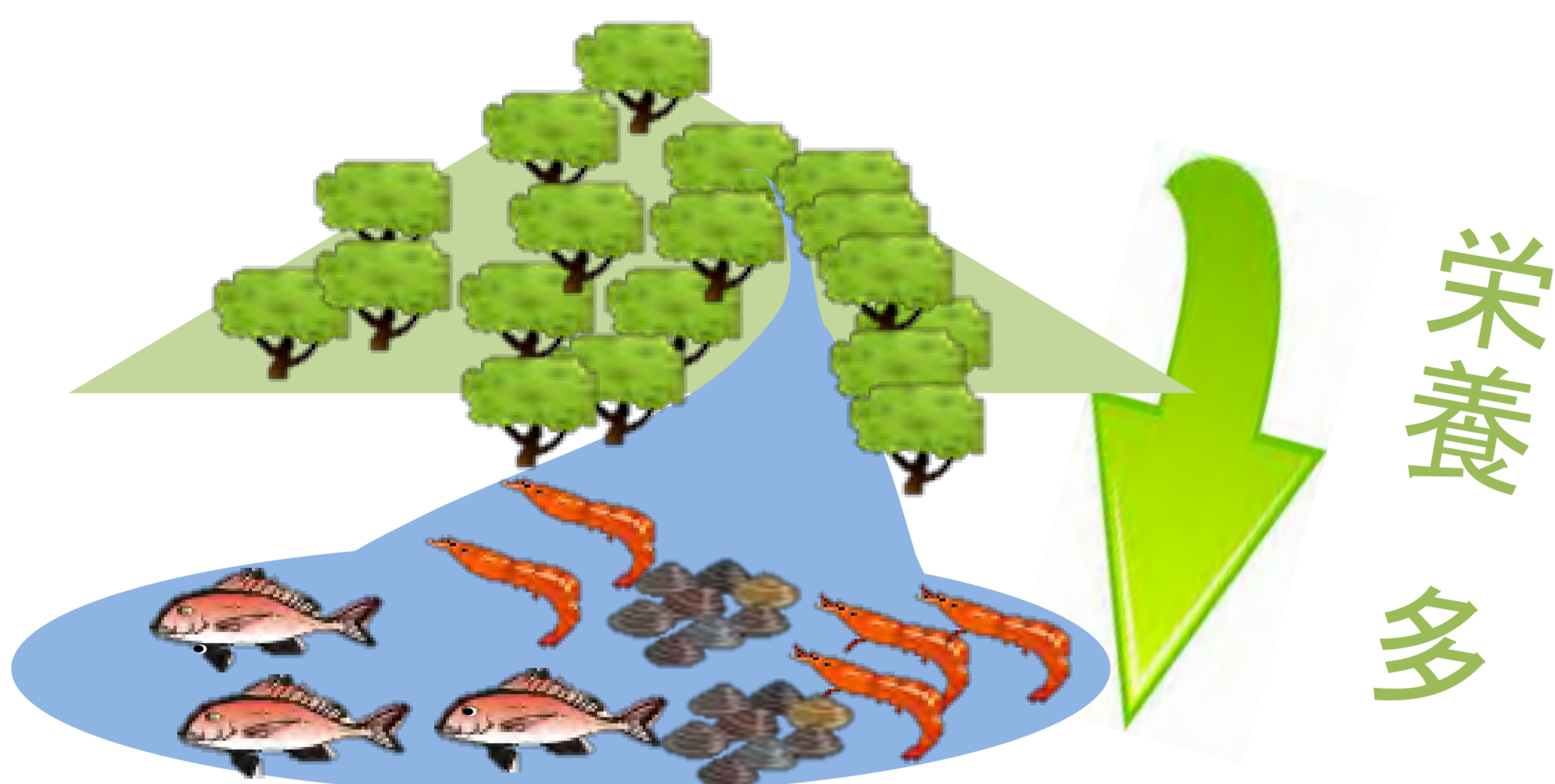
## 豊かな海ってどんな海？



- 岡山県の海には、吉井川、旭川、高梁川などの川を通じて、陸域の栄養※が供給されています。
- 海へ豊富な栄養が供給されると、海藻類や魚のえさになる植物プランクトンがよく育ち、生態系が豊かな海になります。

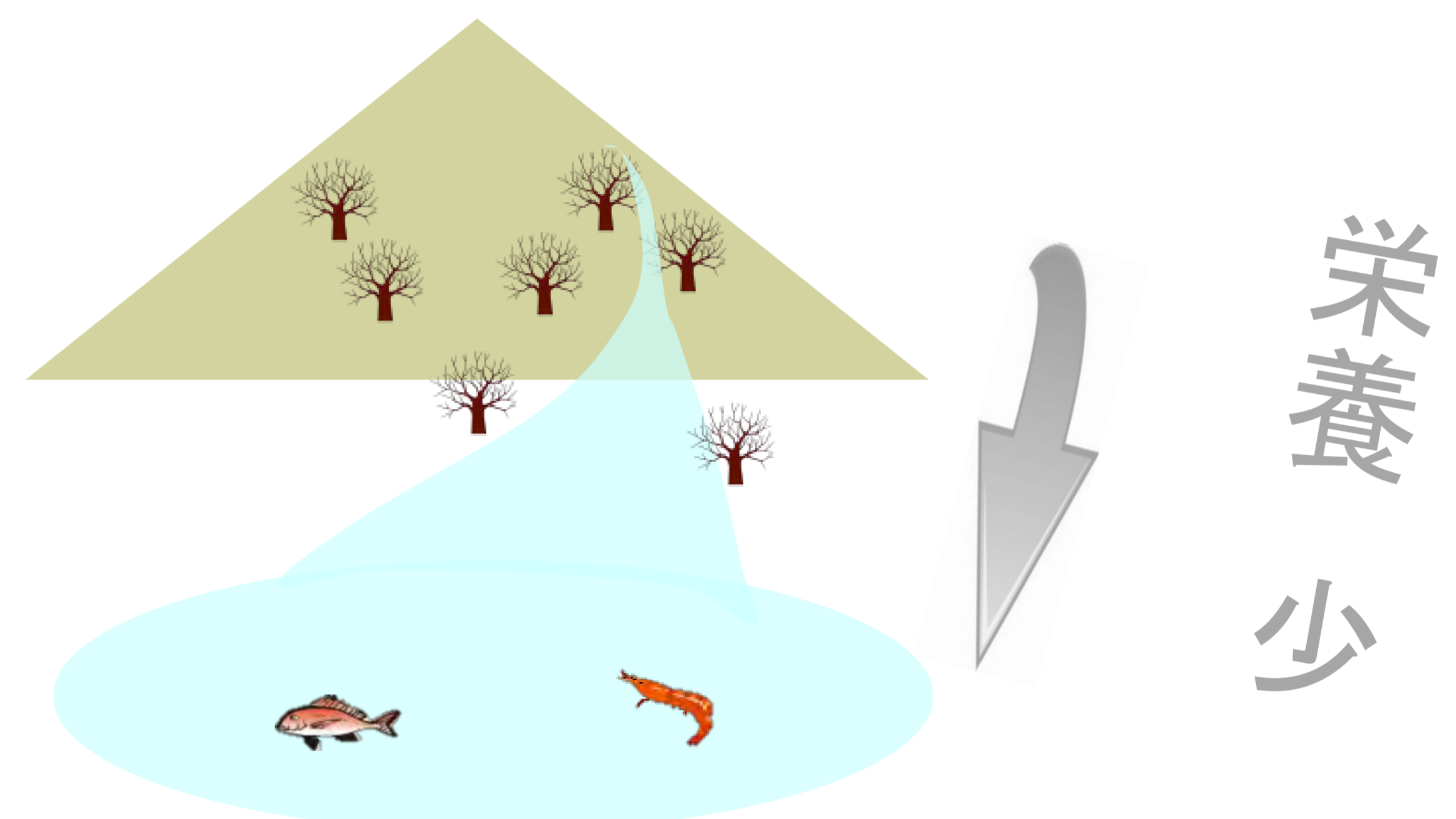
※ここでは窒素、リンなど、植物プランクトンや海藻類の生育に欠かせない栄養分の総称を指します。

### 山に豊かな森林がある



- 落葉・枝などが分解されて栄養豊富な土壌を形成します。その土壌に雨水がしみこみ川を伝って海に流入するため、海の栄養が豊富になります。

### 山に森林が無い



- 栄養の少ないやせた土壌が形成されます。そのため、雨水は栄養を取り込むことなく川を伝って海に流入するため、栄養の少ない海になります。

## 豊かな海にするための取組



- 瀬戸内海を豊かな漁場にするため、地元森林組合、市町等と連携して毎年各地で植樹と下草刈りを行っています。
- 平成16年から森づくり活動を始め、延べ1000名を超える漁業者が、約4,000本の木を植えてきました。

岡山県漁業士会とは

地域漁業の中核的推進者となる漁業者として岡山県が認定した漁業士を中心に組織され、水産業の振興、明るい漁村づくりに寄与することを目的として活動しています。